

# 「第8回 本明川流域減災対策協議会」 開催

本明川流域減災対策協議会では、社会全体で洪水氾濫に備える「水防災意識社会」を再構築するため、河川管理者、気象台、県、市等が連携・協力して本明川流域における洪水氾濫による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進しているところです。

第8回協議会では、令和4年2月に策定した「本明川の減災に係る取組方針」について、今年度の取組状況を確認し、関係機関と情報共有を行いました。

また、今後も引き続き同取組方針に基づき、各機関が連携・協力していくことを確認しました。

## 1. 概要

- ・日 時 : 令和5年2月7日(水)
- ・会 場 : 諫早市役所、Web方式併用
- ・出席者 : 諫早市、長崎県、長崎地方気象台、長崎河川国道事務所



会議風景

## 3. 要旨

- ・「本明川の減災に係る取組方針」に基づく各機関における今年度の取組状況について確認を行った。
- ・今後も引き続き各機関が連携・協力していくことについても確認を行った。

## 2. 議事内容

- ①規約の改正について
- ②本明川の減災に係る取組みについて
- ③今後の取組について

### 防災学習・防災教育等による防災知識の向上

長崎河川国道事務所

関係機関と協力、連携した防災学習、防災教育による普及啓発活動の拡充

- 住民の防災意識向上を図るため、防災に関する出前講座を実施
- 令和5年度は、諫早市内の小中学校、諫早市PTA連合会等を対象に、水害や避難についての防災出前講座を実施(小中学校は約15講座(予定)実施)
- 将来を担う若者へも防災意識を醸成するため、長崎大学、長崎地方気象台、長崎河川国道事務所と連携して、防災教育講座を実施(和:12月)

小中学校を対象とした防災教育

諫早市PTA連合会向けに出前講座

長崎大学教養学部学生への防災教育

### 想定される浸水リスクの周知

長崎地方気象台

行先・訪日外国人に向けた防災情報の普及・啓発

言語・訪日外国人の方が防災気象情報を理解し、安全な避難行動に結びつけるための多言語版のポイント解説コンテンツ等を作成・提供することで、外国人の方々を含めた地域全体の防災力を向上させることを目的とする。

現在提供中の外国人向け情報(赤字は前回報例(待り追加))

- 電子コンテンツ(長崎地方気象台HPに掲載中)
  - ・英語年版、気象情報、今年クレーン14の国語で表し(4)等
  - ・今年クレーン紹介(新しい日本語での説明)
- リーフレット(長崎地方気象台HPに掲載中)
  - ・WEB3Dサイト利用型リーフレット
  - ・「はじめての防災」をスマートフォンでみてみよう!
  - ・日本語(5のがり付き)
- ・気象情報解説リーフレット
  - 「大層の難い安全な避難行動のために」
  - ・日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)、ベトナム語、韓国語、インドネシア語、ネパール語

QRコード

五の二乗QRコードからアクセスしてみてください!

URL : <https://www.jma-nat.go.jp/nagasaki/c/akikuru/ik/akuru.html>

### 想定される浸水リスクの周知

長崎県

水害リスク情報未提供区域の解消

本明川水系指定指定区域間の浸水想定区域図

想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域作成【平成28～令和6年度】

本明川流域の指定区域について、過去最大規模での大雨浸水想定区域図(1999年)に作成済み、100年に発生している。また、米野川が本明川に合流している(指定区域)本明川流域(おいては34河川)について、浸水想定区域図(過去最大規模)の作成・発行が進行している。(令和5年度(予定)完了予定)

指定区域	指定区域	指定区域
指定区域(1) (1) (1)	指定区域(2) (1) (1)	指定区域(3) (1) (1)

### 避難場所・避難経路の確保

諫早市

魚屋産産・民間施設等の避難施設としての活用

- 自・避難所(指定)指定事業費補助金(令和4年度(令和5年度))
- 魚屋産産(指定)指定事業費補助金(令和4年度(令和5年度))
- 指定区域(令和5年度(令和5年度))
- 指定区域(令和5年度(令和5年度))

→ 市民が「自分たちの身は自分たちで守る(自助)」という意識のもと、発災時には、近所の人と助けあう「共助」による災害被害の軽減を図る。

令和5年度改修

スロープ改善

避難所改善